



ソレイユニュースレター 発行日:令和元年 10月15日 発行部数:1100部 発行人:石井 トシ子 編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本 6-2-1(シティ・プラザはしもと内)

男女共同参画川柳コンテスト 2019

今年度、3 年目となります男女共同参画川柳コンテストは、家庭や職場、学校、地域など身近な暮らしの中で何気なく感じる「おかしい、変だ、こうだったらいいのに…」という気持ち、お互いを思いやる心に対して嬉しかったこと、感動したことなどを題材にした川柳の作品を募集しています。

作品募集は10/21（月）まで！

応募用紙はソレイユさがみ、市内公民館に配架。

HP からも印刷できます。

ご参考までに、過去の作品を紹介します。

まだまだ間に合います！
ご応募お待ちしております。



2017 子どもの部 グランプリ

＜作者のひと言＞
みんなでさべつをなくしたい。



2017 大人の部 グランプリ

＜作者のひと言＞
家庭だけでも性別役割分担意識を無くした。

2018 子どもの部 グランプリ

＜作者のひと言＞
家族からの思いやりを
そうぞうした。

2018 大人の部 グランプリ

＜作者のひと言＞
人生は自分らしく生きる
ことだと気づいて…



投票は11/5（火）～12/10（火）です！

一次審査で選ばれた作品を、11月5日（火）～12月10日（火）の期間に、ソレイユさがみで展示し、来館者による投票を行います。また、同時に各区役所ロビーにおいても投票会場を設置します。さらにイベント会場（2ヶ所を予定）での投票を行います。その投票結果をもとに男女共同参画を推進している方々の最終審査により、各グランプリ、準グランプリの入賞者を決定いたします。ぜひご覧いただき、お気に入りの川柳に投票をお願いいたします！！

入賞者の表彰式は、来年6月のソレイユフェスタ2020（仮称）のオープニングセレモニーにおいて行います。

気づきのコーナー 「女性視点の防災」 展示

今年度、最初の気づきのコーナーは、「女性視点の防災」です。9月は防災の月。9月12日（木）～26日（木）は、ミニギャラリーに展示。ソレイユさがみ情報委員会の作成したパネルに加えて、ソレイユさがみ登録団体の「橋本地域住民防災検討会」さんにご協力いただき、団体作成の啓発パネルも一緒に展示しました。皆さんにホットな情報を提供することができました。その後、情報委員会のパネルは所定の場所に移動し、現在も展示中です。

9月は、台風15号の影響で、千葉で大規模な停電や断水が発生し、日常できる自助の防災がいかに大切かを思い知らされました。来館された折には、ぜひであいの広場気づきのコーナーをご覧ください。

自助の備えの参考になってもらえればうれしいです。



<情報委員会の展示>

日常の中でできる防災を紹介しています。

<橋本地域住民防災検討会の展示>

「百均防災」の展示が人気でした！



さんかくサロン（旧:であいのサロン） 参加者のとても大事な時間

10年ほど前に妻に先立たれ、言葉を発することなく日々が過ぎるような塞ぎ込んだ生活が1年近く続いた時、これではダメだと思って外に出て活動をはじめたというKさん。

住まいの近くの高齢者学級を手始めに、広報に掲載されていた「であいのサロン」に参加。いまでは常連さんになっているKさんは、参加について「気持ちが挫ける日もサロンに行く」と会が終わる頃には気分が軽くなっていることが幾度もあることに気がついた」と語ります。参加を重ねるうちに気の合う人々に会い、自然の中へ出掛ける仲間や、自宅で一緒に調理する「調理遊び」の仲間も出来て交流が続いていることを聞き、ソレイユさがみ交流事業委員会の委員がKさん宅で取材をさせていただきました。自宅の台所でテキパキと調理し、あつという間に数種類の手料理が並びました。手慣れた様子に感服です。



いろいろなサークルに参加しているKさんは『であいのサロン』は参加を



重ねるほど親近感が育まれ、参加者の一体感が培われる場所であり適度の緊張感をもった雰囲気がある場所。新しい参加者や仲間と話す時間はとても大事な時間」とインタビューに答えてくれました。

「さんかくサロンは毎月第2月曜日10時から、ソレイユさがみコミュニティゾーンで開催しています。」

🎃🎃🎃🎃🎃🎃 ソレイユさがみ登録団体 PR コーナー 🎃🎃🎃🎃🎃🎃

橋本里親サロン 代表 岡崎 京子

橋本里親サロンは、ソレイユさがみで年4回と川崎市の乳児院で年2回開催して11年目になります。このサロンの特徴は、神奈川県、東京都など広範囲の里母さんや里父さん、特別養子縁組の方や元里子の参加もあることです。子どもを連れての参加もあります。また心理や発達の専門家やスクールカウンセラーや相談員などの支援者も毎回参加し、親と暮らせない子たちの気持ちの理解や養育の悩みを一緒に考えたり専門的な話を聞いたりしています。サロン終了後に昼食を食べながら話が弾み、それを楽しみに参加する方も増えています。

相模原グリーンビデオクラブ 代表 岡 純正

市内の行事・風景等を収録して後世に繋げる資料の制作に携わり、クラブ活動を通して男女共同参画社会の推進を支援しています。日帰りや宿泊を伴う撮影会行ない、作成したビデオ作品を会員相互に鑑賞し意見を交換してより良い作品が出来上がるよう励んでいます。

ソレイユさがみで作品上映会を計画中です。女性会員不在の当クラブ、女性ならではの感性でビデオを制作し、更に「ソフトで明朗なナレーション」を加えてみてください。きっと素敵な作品が出来上がります。女性・男性共に会員募集中です。



編集後記



令和元年の深まり行く秋を迎え、共に生きる思いも人それぞれでしょう。地球温暖化の影響で気象変動が懸念されています。こうした中、「女性視点の防災」展示を行い、多くの市民の皆さんに啓発させていただきました。災害時の鉄則まず「生きる(自助)」には備えが必要です。各種講座の参加をはじめご来館の際には、気づきのコーナーにもぜひお立ち寄りください。（遠藤・小黑）